

平成 28 年 12 月 16 日 (金)



今日は日置市東市来町湯田の、シチズン時計鹿児島株式会社で「MBC ラジオポニー号」が「モーニングスマイル」の中継を行いました。

ポニーメイツの松下さん、椿さんが、シチズン時計鹿児島株式会社の安全運転管理者の伊藤博文さんにお話を伺いました。

### ～ 中 継 内 容 ～

シチズン時計鹿児島株式会社の事業内容は、腕時計のムーブメント部品の製造を行っています。ムーブメント部品とは簡単に言いますと腕時計の中の部分です。歯車や金部品を造っています。

従業員数は 355 名で、平均年齢が 34.8 歳と若い従業員の活躍が多いです。1991 年に設立され、今年で 26 年目になります。

弊社は平成 28 年度の安全運転管理のモデル事業所ということで交通事故防止に対する取り組みとしては、会社の立地条件により基本的に全従業員が自家用車の通勤を行っています。北は出水の方から穎娃町まで幅広いところから通勤してきます。

やはり製造会社なので通勤での通勤災害というのが一番の事故発生リスクがありますので、必然的に交通事故目標は「通勤災害 0 件」としています。

私が自分が安全運転管理者に拝命されて 3 年目になりますが、事故は残念ながら年間平均で 5～6 件発生しています。分類で言うともらい事故が半数以上を占めています。しかもらい事故でも危険予知能力が働けば防げていた事故もありますので、2015 年より危険予知能力強化による事故未然予防処置活動をスタートしました。まずは朝礼時の指差呼称の実施です。指差呼称の内容は「思い込み運転を辞めよう ヨシ！！！」です。

他にも構内パトロールでの違反者に対する違反者講習会実施したり、危険予知能力の向上活動として通勤時のヒヤリハットする場所の提案をしたり、全従

業員対象で行っております。また、運転者委員会による危険予知マップの作成と会社への展開、掲示を行っております。危険箇所に対する改善依頼として管轄の日置警察署へ懇願しております。

マップの作成について、手始めに会社周辺の伊集院等近郊のマップを作成しています。具体的に言うとロードミラーがなくて見辛い、飛び出す車が多いので危ない、朝の通学の生徒が多いので危険等の提案をしてもらっています。このような取り組みを初めて安全運転管理者になった3年前は8件、次の年は6件、今年度は4件とどんどん減少傾向にあります。今後も交通事故目標である0件を目指していきます。

その他としまして、安全運転に関するポスターや旗の掲示、構内パトロールの実施あと、構内ルールの展開を行っております。また従業員の通勤車両へのCDCステッカーの貼付も行っております。CDCステッカーとは「シチズンドライバークラブ」の略称となっており、シチズン時計鹿兒島の看板を背負っているという意識付けで全員が安全運転への意識を高めるために行っております。

### ～伊藤さんからラジオをお聞きのみなさんにメッセージ～

年末にかけて帰省者や旅行者等、普段道に不慣れな人がハンドルを握っていることも想定されます。そういう時だからこそ、いつも以上に危険予知能力を働かせ安全運転に取り組むべきだと思います。

事故はいつ何時やってくるかわかりません。「停まるだろう」「飛び出してこないだろう」ではなく常に「停まらないかもしれない」「飛び出してくるかもしれない」だろう運転からかもしれない運転への啓蒙をお願いします。

共に交通事故災害0件を目指しましょう。

